

④最大データ量（取扱い量）

この「儲かる実際原価計算」を使用して計算できる「最大データ量（上限）」を、下表に記載します。

本 EXCEL ファイルでは、これを超えて計算はできませんので、予め、ご確認をお願いします。

種類	取扱い最大データ量（上限）
工程数	500 工程 ※設備の台数ではありません。原価計算を計算する単位、場所の数です。
製品数・品番数	5000 アイテム（5000 品番）
得意先数	1000 社
原価費目数	30 費目 （労務費、減価償却費などの加工費の費目数）
減価償却明細行	3000 台 ※設備の台数です。固定資産台帳の中で直接、生産に寄与する生産設備の数と概ね、等しくなります。
生産実績数	10000 行 ※工程・製品毎の生産実績の実績数です。 100 品番を段替えせずに専用機として生産している場合は、「100 行」になります。 100 品番（全品番）を 2 工程で生産している場合は、「200 行」になります。
売上実績数	5000 行 ※得意先・製品毎の売上実績の実績数です。 100 品番を対象に、1 社に 1 品番のみを出荷している場合は、「100 行」になります。 100 品番を対象に、1 社に 2 品番を出荷している場合は、「200 行」になります。

尚、この範囲、上限は、比較的簡単に変更が可能ですので、「お問合せ先」まで、ご連絡をいただければ、可能な範囲内で対応いたします。

**※むやみに、列の追加や行の追加、セルの移動は行わないでください。
正しく計算されない場合があります。**